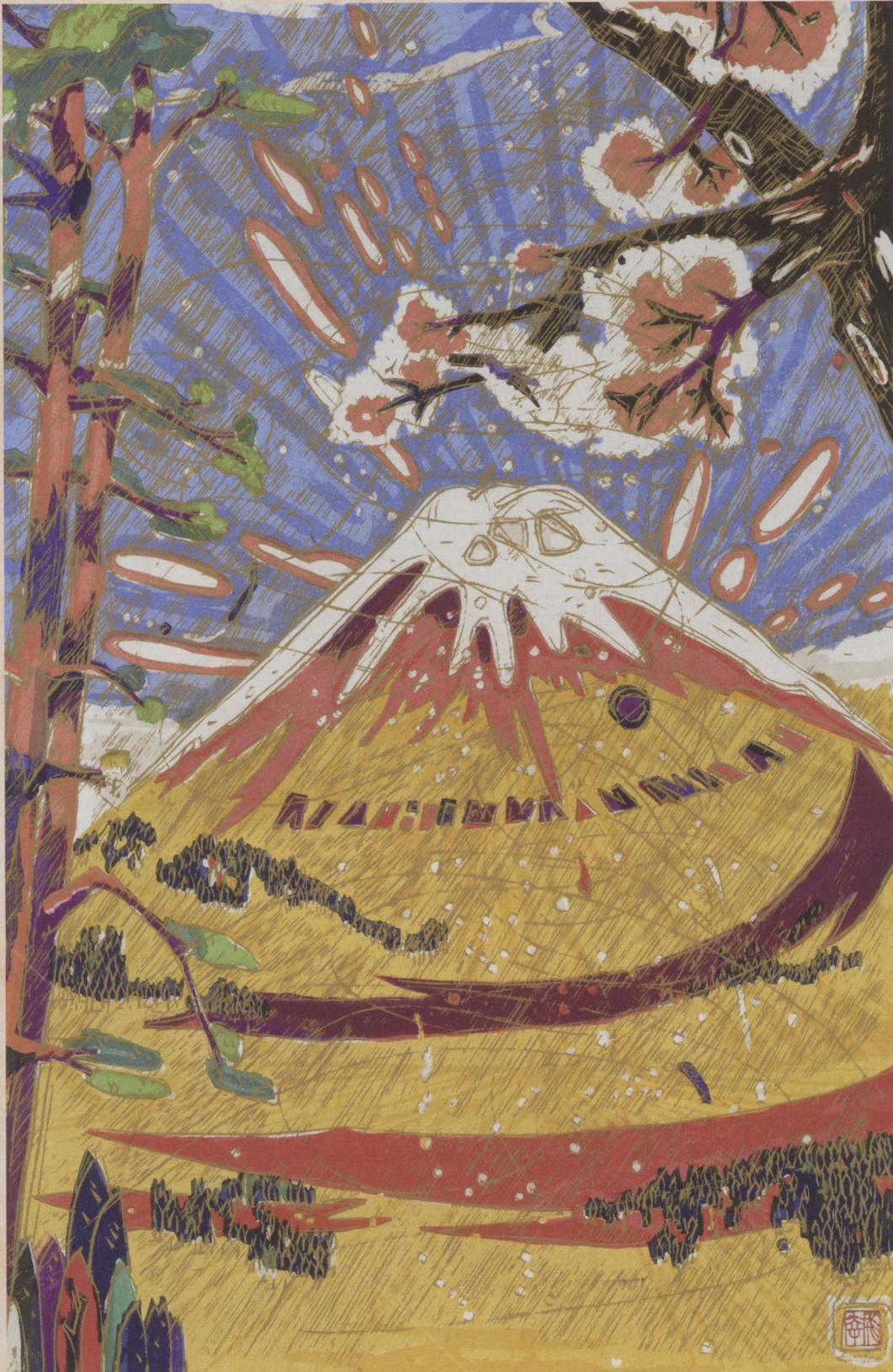


県人とふるさと山梨を結ぶ情報誌

# 富士の国

2015.  
**盛夏**号  
No.646

県人・県民200万人の総力結集！  
**シンポジウム200**



版画家「河内成幸」氏の富士山（上野原市出身）

〔特集〕

第六十六回山梨県人会連合会総会開催

〔パーティー&インフォメーション〕

弦間会長が品川区県人会で講演「美の好循環社会を目指して」

〔連合会だより〕

十士会第二回勉強会のテーマ「コンパクトシティ」について樋口甲府市長と意見交換

他記事多数

山梨県人会連合会

# 多様化するニーズに 確かな品質と的確な対応



## 【営業品目】

- ◆産業紙袋
- ◆軟包装袋
- ◆ストレッチフィルム
- ◆美術印刷
- ◆各種和用紙
- ◆水溶性フィルム



## 株式会社 サンプランナー

代表取締役社長 相吉 英彦（北杜市須玉町出身）

【本社工場】〒135-0002 東京都江東区住吉 1-8-9

TEL:03(3634)6781 FAX:03(3634)6783 E-mail:sunplanner.com

# 富士の国

## CONTENTS

- 04 第66回山梨県人会連合会総会・懇親会開催
- 08 秘境「黒平」で植樹会 故郷への気持ちを一本一本の木に託して
- 10 わがまちへようこそ 上野原市
- 12 独自の文化発信地として故郷、上野原を見直そう
- 13 故郷に流れる歴史の風 長寿村としてスローライフの豊かさを世に知らしめた「桐原」地区
- 14 ふるさとの都市伝説 日本三大奇橋 猿橋を渡る（大月市・猿橋）
- 15 首都圏甲州市県人会 設立
- 16 がんばれ！ヴァンフォーレ甲府！
- 17 夏は富士五湖エリアに、ゴルフファンの目がクギづけとなる。  
V甲府首都圏サポーターよ、8・16 日産スタジアムで熱き声援を！
- 18 Party & Information  
第67回中野区山梨県人会総会・懇親会開催 / 第25回女性の会 / 西東京県人会開催  
多摩市山梨県人会 / 平成27年度第1回常任理事・理事合同会議 / 第30回東甲倶楽部開催  
第35回甲斐クラブ / 平成27年横浜山梨県人会春の集い開催 / 品川区山梨県人会総会・懇親会開催  
一紅会 歴史研究同好会「古代と戦国ロマンの旅」～埼玉県行田市 / 第3回十士会開催  
山梨農林東京圏同窓会総会および懇親会の開催 / 第67回足立区山梨県人会開催  
甲府西高等学校同窓会第52回東京支部総会・懇親会開催 / ほうとう会  
第5回南アルプス市山梨県人会開催
- 30 連合会だより

# 特集 第66回山梨県人会 連合会総会・懇親会開催



新しい山梨の展望をめざして、  
リンケージ200構想の一層の推進を  
首都圏在住の県人と県民460名が参集

5月23日（土）、新宿・京王  
プラザホテルにて山梨県人会連  
合会（弦間明会長）の第66回総  
会・懇親会が開催され、首都圏  
及び県内の山梨県関係者460  
名が参集した。

員長である秋山智史副会長（富  
国生命・会長）は「幼少期を父  
祖の地である増穂で過ごした。  
自然の豊かさや人々のやさしさ  
が山梨の魅力だ。世代を超えて  
山梨の豊かさをコラボレーショ  
ンしよう」と開会のことばを述  
べた。

小俣雅子さん（都留市出身）  
の司会により、中込勝子女性の  
会会長が「ふるさとの絆を（こ  
のように一堂に介すことによ  
り）いっそう深めよう」と開会  
の挨拶をした。本年度の実行委  
員長である秋山智史副会長（富  
国生命・会長）は「幼少期を父  
祖の地である増穂で過ごした。  
自然の豊かさや人々のやさしさ  
が山梨の魅力だ。世代を超えて  
山梨の豊かさをコラボレーショ  
ンしよう」と開会のことばを述  
べた。

弦間会長は「中東、ヨーロッ  
パにかけて人権や宗教にかかわ  
る痛ましい事件が続発して、  
あらためて人間社会の歪が浮



き彫りになった。日本ではアベノミクスによる企業利益の増大等ポジティブな芽はあるが、更に

『ふるさとリンケージ2000』構想を一層強めたい」と語った。

社会を持続的に向上させる工夫と努力が求められている。日本を動かす大きな力として地域の活性化があるが、山梨では富士山の世界文化遺産登録という契機もあって、外国人観光客が急増している。しかし肝心なことは、単なる一過性の物見遊山ではなく、また来たいというリピーターになってもらうこと

議事に入り、長田正総務委員長から年18回に及ぶ会の活動報告、中村芳文副会長からは決算、予算案が細部にわたり報告された。中岡啓子事業委員長の事業計画案、土橋正副会長による会則改定案の報告があり、いずれも拍手をもって承認された。

だ。山梨ならではの心のこもったおもてなし、パワーと魅力の世界に発信したい。後藤新知事の掲げる人口100万人都市をめざす『ダイナミックやまなし・プラチナ社会構想』のアイデアと実行力に期待しつつ、山梨県人会連合会としても、県人、県民200万人絆を強める

来賓祝辞として後藤斎山梨県知事は「山梨にはまだまだ沢山の資源（自然環境、生産力、人脈等）が眠ったままになっている。それをどう掘り起こすのか、現在総合計画を立案中だ。そのためには更なる県人会連合会との連携強化をお願いしたい」と述べた。中谷真一衆議院議員、森屋宏参議院議員、石井



脩徳県議会議長もそれぞれ挨拶した。山梨市長会を代表して江口英雄上野原市長は「国の経済は緩やかな回復基調といわれるが、地方には未だ届いていない。地域の特性を生かした活動の芽を、県内各市町村とも連携して育てていきたい」と語った。萩原能成広報委員長が閉会の辞を述べて総会が終了。

志村司郎県人会連合会会長代行の乾杯の音頭により懇親会に移り、藤岡淳子さん主導によるフラダンス、寛舞流の日本舞踊「滝の白糸」、小倉浩二さんのシャンソン等を楽しんだ。武田節を全員で斉唱、中村忠正県人会連合会会長代行による万歳三唱、内田孝副会長の閉会のことばにより散会した。



# 秘境「黒平」で植樹会 故郷への気持ちを一木一木の木に託して

4月18日（土）、山梨県人会連合会事業委員会（中岡啓子事業委員長）の企画する第5回水源林植樹会が開かれた。

同会は「ふるさとリネージュ200」を掲げる山梨県人会連合会の重要行事と位置づけられ、毎年参加する人も多い。首都圏在住の45名が早朝新宿に参集、貸切りバスで甲府市御岳町にある市有林をめざした。古明地昭雄事業委員の司会により、各々が自己紹介、女性の会の差し入れの菓子や飲み物が配られ、中央道は渋滞したものの、和やかに歓談している間に、中継点の甲府上下水道局に着いた。甲府市の幹部職員の



出迎えを受け、用意

されていた新車のマ

イクロバスに乗り換

えて水源林に向かっ

た。昇仙峡仙娥滝を

過ぎ、バスはかつて

秘境といわれた黒平

までの峠道をゆっくり走る。途上に山桜の

可憐な花がほつほつと開花している。市制

100年を記念して植樹されたものとい

う。長野県との県境近く、限界村落ともみ

られる黒平地区には、市の関係者によると

選挙民としての登録者は十数名程度とい



うことで空き家もめ  
だっているが、それ  
だけに荒川の源流水  
域のひびきと奥深い  
山林の陰影が、他に  
はみられない澄明な  
里山の気配を生み出

している。予定時間を過ぎていたため、出  
迎えていた樋口雄一甲府市長はマイクロボ  
スに飛び乗り、公務が控えているため植樹  
会には参加できないが、楽しんでください  
と一言挨拶した。山林斜面に用意された植  
樹地で開会式となり、有野芳邦県人会連合  
会会長代行が「樹を植えるとは気、すなわ

ちまごころを植えること。ふるさとへのそれぞれの思いを木に託しましょう」とスピーチした。間中寿美恵女性の会副会長主導によるストレッチ体操で全員体をほぐした後、甲府市森林課の職員他のサポートを受けて、「ミズナラ」「クリ」の植樹を各



では、とん汁におにぎり、地元名産の根太  
 いうどのお浸し等、黒平パワーあふれる昼  
 食会。来賓の山本甲府副市長が「樋口市長  
 のもと新体制となり、これまで以上に各県  
 人会との連携を深める活動をしたい」と挨拶  
 した。内田孝県人会連合会副会長が乾杯



の音頭をとり、中岡事業委員長からは山梨  
 カミングデー等今後の事業の展望が示され  
 た。昼食のおにぎりは通常の1・5倍。中  
 身の梅干も添付の沢庵も地元の人たちが手  
 塩にかけて作り上げてきた自家製で、絶

品である。うどは大地の味が染  
 み透り、黒平で採られたもので  
 しか味わえない濃厚な逸品。3  
 本300円で売られていたうど  
 は、またたく間に売れた。帰途  
 のバスでは、有野征雄県人会連  
 合会副会長の軽妙なトークによ  
 る「じゃんけん大会」で大いに  
 盛り上がり、午後7時過ぎに新  
 宿駅前で散会した。

あが<sup>ま</sup>ちへようこそ

# 上野原市

## 自然・文化・食が

## つながるまち

# 上野原市



上野原市上空から市街地を望む



上野原市

### ■自然豊かなまち

上野原市は、都心から1時間という立地でありながら自然豊かなところが魅力です。市内には八重山や坪山など気軽に登れる山があり、登山道には、市の花「リンドウ」や貴重な高山植物「イワカガミ」、「ヒカゲツツジ」などの花が咲きます。週末には、多くの登山客が山を登りに上野原市を訪れます。また、今年の春に実施した駅からハイキング「要害山トレッキング」では、定員100名の募集に対して、申込受付開始から2時間で定員になるほどの人気でした。このように、近年注目を集める市内の山々。気軽に登れる山であるからこそ、沢筋に流れる風や木々の香りなどを、十分に感じる事ができることでしょう。山に登ったことがない方も、ぜひ、上野原市の自

然に触れ、非日常的な感覚を味わってみてください。

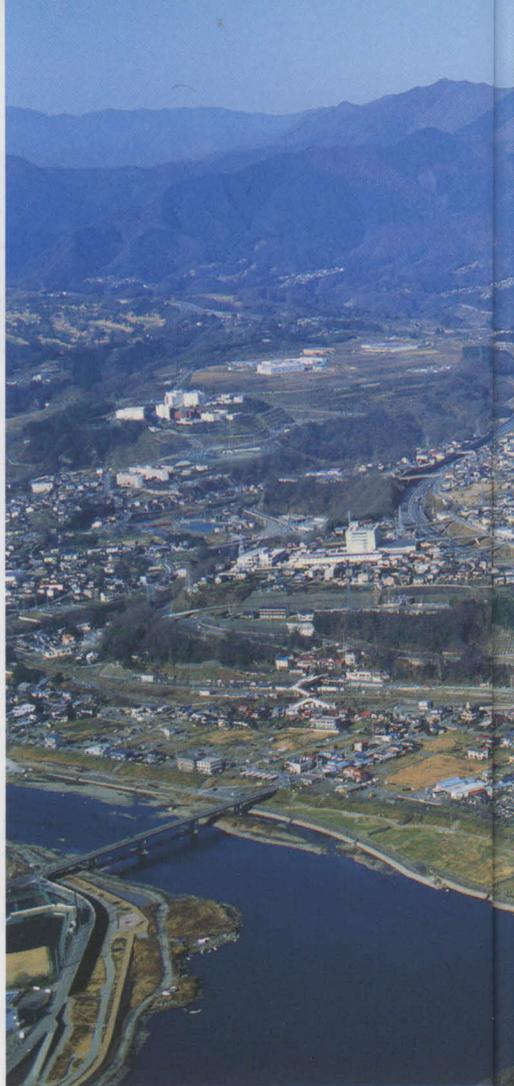


上野原市長 江口英雄

山々に囲まれた上野原市は、独自の文化を育み、自然とともに歩んできたまちであります。今回は、これまであまり知られていない上野原市の自然や文化などを掲載しました。まだまだ紹介したい魅力がありますので、次の機会を楽しみにしていただきます。

### ■伝統文化が息づくまち

山々に囲まれた上野原市では、古くから地域特有の伝統文化が息づいています。市内の最北部に位置する西原地区では、江戸時代から伝わるといわれる古在家神楽舞が毎年9月に行われます。この神楽舞は、「猿田」、「御祈祷」、「お祓い」などの13演目からなり、代々受け継がれる面とともに地域のみなさんによって継承されています。深夜まで続くこの神楽舞は、一見の価値があります。みなさんには、ぜひ見学していただきたい伝統文化のひとつであります。また、郡内三大祭りの一つでもある牛倉神社の例大祭が9月上旬の3日間にあわせて行われます。この間



坪山のイワカガミ



坪山のヒカゲツツジ



古在家神楽舞の演目「お祓い」



桐原地区小伏の獅子舞



牛倉神社のお神輿渡御



秋山地区無生野の大念仏



は、一年のうちで一番上野原市が盛り上がりします。特に国道20号を通行止めにして何騎ものお神輿が渡御する様子は、担ぎ手だけでなく見物客も心が踊ります。この他にも、桐原・西原地区の獅子舞や秋山地区無生野の大念仏など、市内には魅力ある伝統文化が息づいています。ぜひ、上野原市に脈々と受け継がれる伝統文化に触れてみてください。

■新たな食を生むまち

上野原市桐原地区は、かつて「日本一の長寿村」と言われました。長寿村と言われた要因の一つに雑穀などを使った食文化があります。今、上野原市は、この雑穀に注目しています。

南米のポリビアやペルーが原産の雑穀「キヌア」は、その類いまれな栄養バランスなどから、NASA や国連が栽培を啓発しており、2013年以降、世界中で注目を集める食材となっています。

上野原市では、他の地域に先駆けて、「キヌア」の特産化に向けた取り組みを進めています。また、キヌア



雑穀「キヌア」

を使ったお菓子などの商品化に向けた取り組みも、市民レベルで動き出しています。上野原市は日本を代表するキヌアの生産地といわれるように、キヌアの特産化に向けて取り組みます。上野原産のキヌアを使った商品が、日本全国に広まることをみなさんも期待しててください。

■最後に

現在、上野原市は上野原駅周辺整備や談合坂スマートインターチェンジの設置などを進めています。上野原市は、これらの基盤整備と、自然、文化、食などをつなげた魅力あるまちづくりを進めていきます。これから大きく変わっていく上野原市の応援をこれからも宜しくお願いいたします。

# 独自の文化発信地として故郷、上野原を見直そう

上野原市制十周年式典開催・・・山梨を代表する美術家と上野原市長が鼎談

5月17日(日) 上野原市

制施行10周年記念式典が、上野原市もみじホールで開催され、約200人が参集した。

一部では、市政功労者37名の表彰があり、江口英雄上野原市長より表彰状が手渡された。来賓祝辞として後藤斎山梨県知事、石井修徳県議会議員、堀内詔子衆議院議員、森屋宏参議院議員がそれぞれ挨拶した。

二部では、上野原出身で市観光大使を務める、山梨を代表する洋画家降矢組人氏、版画家河内成幸氏と、江口市長との記念鼎談が行われた。江口市長の幼少期はどう過ごしたのかの問いかけに降矢氏は「西原村の山間で生育した。昭和5年生まれなので、まだ交通は整備されていない。都留高に進学したが、寮生活を送り、休日は20キロの山道を歩いて家まで帰っ



た。自然と直に触れ合い多くを学んだ」と語った。河内氏は「上野原駅前の河内屋旅館の長男で、昭和23年生まれ。降矢氏は都留高の先輩だ。目の前に広がる桂川の風景が自分の原点、感性の中心にある」と語った。「お二人とも長く東京在住だが、外から眺めて上野原の印象は？」という江口市長の問いかけには「上野原に戻ると間近に、遠くにと山波が見えて、故郷の自然のすばらしさに改めて感動する。地元の子供たちの絵画を今回

見させてもらって、この自然を愛する気持ちが受け継がれていることがわかって嬉しい」(降矢)「ヨーロッパでは地域の文化のなかで、自然環境をどう生かすという視点から整備がなされている。上野原に限らないが、日本では開発優先になりがちな

のが気がかりだ」(河内)「上野原の未来、こどもたちに託す思いは？」(江口)については、「子供たちの絵や作文には、単に自然を描くだけではなく、老人の暮らしやすい環境まで思っている。自然環境と、そこに住む人々とのバランスのとれた街づくりを願いたい」(降矢)「少子高齢化、過疎化を悪いとするのではなく、むしろ地域の文化を発掘する場と捉えなおしたい。地域の個性を生かした村祭り等を楽しみ、絆を深めて、それを外に発信するという思いを、子供たちに受け継いでほしい」(河内)と答えた。「あたり前に感じていた上野原という風土の豊かさを、まだ十分に生かしていないことを、お二人の話から受けとめた。自然、街の環境の調和したコンパクトシティを、市民の協力を得ながら今後ともめざしてゆきたい」と江口市長が抱負を語った。



市内の小中学生から公募した、上野原市をテーマにした作文表彰、発表もあり、和田上野原教育長が、閉会の言葉を述べた。

故郷に流れる歴史の風 (上野原市)

## 長寿村としてスローライフの豊かさを 世に知らしめた「桐原」地区

上野原市は、桂川沿いの河岸段丘が隆起した特殊な地形のため、上野原駅から市街地まで、急坂を数十分のぼらないと行き着かないという、特殊な地形で発達した街だ。また、東京、神奈川と隣接しているので、県央のような、ばりばりの甲州弁丸出しの地域というわけでもない。甲州街道を介した山間の宿場町でありながら、首都圏へと至る道しるべの町として栄えたのだから、甲州と関東圏を結ぶ中間地域と捉えたほうが、わかりやすい。

養蚕地帯の地の利を生かし、甲斐絹が生産され、それを東京、横浜へと行商するルートが江戸後期から明治にかけて確立され、山間の街でありながら、上野原町は、独自の文化を形成したのである。峠ひとつ越えれば東京へと繋がり、桂川の下流を利用すれば、相模原一体をエリアとして行商を拡大することができた。

しかし戦後、絹産業の衰退とともに、上野原に限らないが、かつて行商人で賑わった甲州街道沿いの宿場町は、往時の活気を失っていった。中央高速道が開通したのはいいが、かつて栄えた宿場町を直接通るわけではない。(いささか皮肉なことではあるが、現在市内で最も栄えている商業施設は談合坂パーキングエリアである)

そんな時代の流れのなかで上野原が日本全国から脚光を浴びたのは、上野原桐原村(当時)が、沖縄県と並び、日本一の長寿村と紹介されたことによる。戦前、代用教員として上野原に赴任した古守豊甫氏(後、医師となり甲府市内に病院を開業)は、桐原村に男女を問わず長寿者が多いことを発見した。

山梨、神奈川、東京の県境にある急峻の村、米作には不向きで、稗、粟といった穀類が主食、肉食はほとんどしないが川魚は豊富、急な坂をのぼり降りする日々なので足腰が鍛えられ、自家栽培の野菜を豊富に食し、味噌、漬物といった発酵食品物を共同で分け合う、という日々の生活習慣がそこにあった。平地がほとんどないので土地を奪い合う、といった発想がなく、相互扶助という豊かなコミュニケーションが自ずから築かれていたことも、長寿には欠かせないことだっただろう。戦後古守医師は、桐原村の疫学調査を他の研究機関とも連携して続け、昭和43年に発表した発表調査が認められた後、各マスコミに喧伝され、桐原村長寿日本一伝説が、日本全国に広まったのである。

もっとうまいものを食おうとか、周りを押しつけ金もうけをして、他人よりいい暮らしをしよう、という発想がなく、「いま与えられている自然の恵みを最大限生かして、こころ豊かに暮らそう」という共同意識、いわばスローライフ感覚が、長年にわたり自然に桐原村に浸透していたからこそ、長寿村となったともいえる。あくせくせずとも、天はすべてを与えてくれるのだ。

そんな桐原の象徴として、「ふるさと長寿館」(上野原市桐原2374-1 ☎0554-67-2910)がある。滋養豊かな長寿食や、地元で作られた味噌、コンニャク、名物の酒まんじゅうといったスローフードを味わい、また実際に作ることができる施設だ。手始めにここから、スローライフを体験してみようではないか。

(文責 山下雅人)



意外に知らない

# ふるさとの都市伝説

vol.  
7

## 日本三大奇橋 猿橋を渡る (大月市・猿橋)

大月市の「猿橋」は国名勝に指定され、日本三大奇橋として知られる。奇橋とは日本の古橋のなかで特に構造が特殊なもので、他に山口県岩国市の「錦帯橋」、富山県黒部の「有本橋」(3本目の橋については諸説ある)とされる。「錦帯橋」は、岩国城を背景として、5本のアーチ状の橋が優美に連なる山口県の観光の目玉スポットであり、世界文化遺産登録への承認が現実味を帯びている。それに比して、わが山梨の「猿橋」は至って地味で、全国に知られる観光地とは言いがたいが、それだけに知る人ぞ知るパワースポットなのである。



その橋を渡りたくなくて、平日、中央本線「猿橋駅」に降り立った。駅前広場には黒塗りのタクシーが一台、千年後に来そうな客を待っている。看板のない商店が一軒あって、菓子パンとかポテトチップが置かれている台が、サッシの窓越しに仄かにみえる。すぐに甲州街道に出る。旧街道はどれもそうだが、道幅が狭いのに車の往来が激しい。アメリカンドッグやピザ、たこ焼きを売る屋台風の店舗が、値札を貼り付けたまま街道沿いに放置されている。赤っぽい屋根はぼろぼろ、おそらく10年以上そのままなのだろう。この俗世間を超越した感じの街道の鄙びた佇まいが、異次元の町に入ってゆくような眩暈を与えてくれるのだ。

街道沿いに十数分歩くと猿橋に着く。谷あいの難所に、一本の釘も使わず、はね木を重ね合わせるだけで橋を架けるという、奇跡の技術が生かされた橋だ。推古天皇時代の7世紀、渡来人(百濟人)が、猿が手と手を繋ぎあって谷渡りをした、あるいは藤蔓を命綱として谷を越えた姿をみて考案されたと伝承されている。通常の橋のように橋脚を用いず、兩岸からせり出したはね木を支点とする特殊な工法が継承され、何度も架け変えられて現在に至っている。猿橋自体は長さ約30メートル、幅3メートルほどの木橋で、眼下の川面までは約30メートル。崖と崖を繋ぐ天空の廻廊といった佇まいだ。橋をささえる木組みが鍵盤のような形に整えられて美しい。断崖は垂直に切り立ち、眼下の桂川の水も速いので、街道を往来する旅人にとって命を繋ぐために、どうしてもなくてはならない橋だったことが、ありありと感じられる。

見下ろすと崖は川面の水明かりを反映して薄緑に揺らいでいる。水と光りのさざめく橋であり、類まれなパワースポットであることに気づかされた。都市生活に疲弊したら、ともかく猿橋へ出かけて、その橋を渡り、千年前の旅人の気持ちを味わってみるのもいいだろう。生きるためのひびきが、足元から伝わってくるから。

(文責 山下雅人)

# 首都圏甲州市県人会 設立

## ■設立の趣旨・目的

甲州市は豊かな自然に恵まれ、ぶどう、もも等フルーツ王国として皆さんより愛され、3点の国宝を始め県内随一の歴史的文化財を有しています。また日本の代表とも言えるワイン産業は、国内外からも高い評価を得ています。旧塩山市、旧勝沼町、旧大和村が合併して満10年を迎え、こうした素晴らしい環境をより活かし更なる成長と発展を目指し、幅広い活動を展開して行くことを目的として、7月に本会を設立することになりました。

甲州市出身者或いは縁のある方々は是非ご参加ください、入会をお待ちしております。



## ■活動内容

□設立総会：平成27年7月17日（金）午後6時アルカディア市ヶ谷

□年間行事：以下開催予定のイベントへの参加（平成27年10月～平成28年5月）  
かつぬまぶどう祭り、甲州フルーツマラソン、およっちょい祭り、市制10周年記念式典、武田陣中ほうとう祭り、かつぬま新酒ワイン祭り、認証畑・認証ワインティスティングツアー、健康ウオークIN甲州、ひなかざりと桃の花祭り、信玄公忌、甲州市ふるさと勝頼公まつり、大菩薩山開き「介山祭」、藤切り祭り

□広報PR：3ヶ月に一度広報誌「広報こうしゅう」を郵送

□その他：首都圏開催の物産展への参加で、甲州市をPR

## ■問い合わせ事務局

甲州市政策秘書課秘書・広聴広報担当

山梨県甲州市塩山於曾1085-1 電話：0553-32-5063

Fax：0553-32-2135

e-mail：seisaku@city.koshu.lg.jp





# がんばれ! ヴァンフォーレ甲府!

広報・長田の  
ヴァンフォーレ日記



皆様、ご無沙汰しておりました。ヴァンフォーレ甲府 広報担当の長田圭介です。

**5** 月15日、樋口靖洋監督の契約解除と佐久間悟ゼネラルマネージャーの新監督就任の発表を行いました。

1月中旬の1次キャンプ始動から約5カ月、リーグ戦11試合を終え2勝9敗の最下位に沈むチームの結果責任を取る形で双方合意の上の監督交代になりました。

それまでの経緯を少し振り返りますと、4月29日の浦和戦で敗戦を喫したあと、樋口監督から「進退伺」がクラブ幹部にあり、海野会長、佐久間GM、樋口監督の3者でミーティングを行い、直近数試合の結果を見て、クラブが総合的に判断するという結論に至りました。

グラウンドの近くで毎日を過ごす私の目には、チームが少しずつではありますが確実に「成長」しているように映っていたので非常に残念な想いもあります。しかし、プロの世界は結果が全て。如何なる状況であっても最終的には「結果」で評価される世界であります。例えば、グラウンドに「どうか結果を出すんだ!」という雰囲気があったとしても・・・。

佐久間新監督が監督に就任するのは、2011シーズン以来となります。この時は三浦俊也監督（現・ベトナム代表監督）がチームを率い、4勝5分11敗（9月時点）という結果の責任を取る形でクラブ初の監督交代が行われました。

ゼネラルマネージャーを務めた人物が監督と言う立場になるということで生まれるメリットを挙げると、①チーム編成を中心的に行っていたからこそ選手とのコミュニケーション



ションが図りやすい。②選手個々の長所・短所を把握している。③戦術の改善が行いやすい。という部分が挙げられると思います。特に③に関しては、昨シーズンまで監督を務め3シーズン連続でJ1の舞台を掴むという成績を残した城福前監督と日頃から密にコミュニケーションを取り、成果・課題を十分に理解しているのが攻守に渡って戦術の修正や整



理がスムーズに行える可能性が高かったのです。

そのポジティブな要素を刺激にして臨んだ、モンテディオ山形戦は佐久間監督の「戦術の整理」と選手たちの「当事者意識」の改善が色濃く見える戦いとなりました。監督交代直後に山本選手は「成績不振

は監督だけの責任ではなく、自分たちにも責任がある」という話をしていました。ピッチで戦う選手たちのメンタリティーと、9年ぶりに甲府に帰ってきたJ1初昇格時のヒーロー「バレー」というターゲットが躍動したことで今シーズン初の複数得点2-0で勝利を収めることが出来ました。

この勝利に佐久間監督は、「樋口監督も志半ばでお互いの合意の基ですが、クラブを去った訳ですけれども、今日それを引き継いで樋口監督がこれまで積み上げて頂いたもの。それからその前は城福監督がしっかりと作り上げて頂いたこと。そういったことに対して、たかだか1勝ですけれども、それだけは報いることができたかなと思います」と話し、これまでの積み重ねが今日の勝利を生んだということを強調しました。

同時に「就任時には残り23試合。1試合終わって22試合。これを1勝1敗ペースでいかなければ、チームの目標である残留することは出来ないという現状は何も変わっていないのですが、勝ったことに関しては、先ほども言いましたが前任の皆様に対して1試合だけですけれども恩返しが出来ました。まだまだ状況は何も変わっていないので、ここから同じ気持ちで頑張っていきたいと思っております」と

しかし、そこから約1ヶ月が経ち、明治安田生命J1 1stステージ第15節（6/7）終了時点での順位は13位に浮上！佐久間新監督就任後、リーグ戦では3勝1分で負けなしと調子が上がり、チームは息を吹き返しました。この調子で1つでも上の順位を目指していきたいと思っておりますので、変わらぬご支援、ご声援を宜しくお願い致します。



## 夏は富士五湖エリアに、ゴルフファンが目がクギづけとなる。

ほぼ1か月間隔で山梨の開催となった男女プロゴルフツアーの「サマー・トーナメント・ラッシュ」は2試合を消化。女子ツアーのリゾートトラストレディス（上野原町・メイプルポイントゴルフクラブ）に続き、男子レギュラーツアーのISPSハンダグローバルカップ（北杜市・ヴィンテージゴルフクラブ）が閉幕している。

しかしまだまだ、大会を見逃したゴルフファンに観戦のチャンスは残っている。周辺がリゾート色真っ盛りとなる7月31日鳴沢ゴルフ倶楽部（南都留郡鳴沢村）で「大東建託・いい部屋ネットレディス」が開幕する（8月2日まで開催）。

最後に控えているのがすでにおなじみの富士桜カントリー倶楽部（同富士河口湖町）が舞台となるフジサンケイクラシック。9月3日から6日まで、富士のふもとで熱い戦いが展開される。県内外のゴルフファンにとって、今から待ち遠しい2試合だ。（写真は今年のフジサンケイクラシックを制した岩田寛）



## V甲府首都圏サポーターよ、8・16日産スタジアムで熱き声援を！

昨年も大好評を博したヴァンフォーレ甲府・首都圏サポーターの第3回観戦イベントを、今年も新横浜で開催します。国立競技場の改修に伴いV甲府の首都圏における主催ゲームが今季はありませんが「そこを何とか」の声に押されて、今年も横浜での開催にこぎつきました。

来る8月16日、日曜日。15時半より17時半までJR・横浜市営地下鉄の新横浜駅から徒歩3分の「オリエンタル・テーブル」（横浜市港北区新横浜2-6-15、新横浜ビジネスビル1F、電話045・476・4884）で交流会を開催します（飲み放題つき）。その後、日産スタジアムに移動し（徒歩10分）、横浜F・マリノス戦をSブロックのビジター自由席で観戦し、試合終了後は自由解散とします。

昨年は首位の浦和とスコアレスドローに持ち込む大殊勲。J1残留に大きなステップとなりました。今年も苦戦の続くなか強豪横浜とのアウェー戦とあって、首都圏サポーターの声援が選手の大きな励みとなるはずです。

先着50名まで。会費は2時間飲み放題の交流会と、ビジター自由席チケット代込みで6500円です。交流会受付時に料金引き換えでチケットをお渡しします。お問い合わせおよびお申し込みは、首都圏甲府会のアドレス（kofu2010@gmail.com）まで。（写真は今年の5月6日、国立競技場での浦和戦観戦イベントから）



豊かな社会のICT基盤を支える  
ものづくりの根幹がここに 있습니다。

Empowered by Innovation

NEC



NECプラットフォームズ 甲府事業所  
（旧 NEC コンピュータテクノ）  
山梨県甲府市大津町 1088-3



NECプラットフォームズ  
<http://www.necplatforms.co.jp>

Orchestrating a brighter world  
世界の想いを、未来へつなげる。

## 第67回中野区山梨県人会総会・懇親会開催 中央本線で繋がる中野区と山梨、一層の交流を深めようと90名が集う

3月22日(日)午前11時30分より中野サンプラザにて、第67回中野区山梨県人会(土橋正会長)の総会・懇親会が約90名の参加を得て開催された。佐野れいじ副会長の司会進行により、会の物故者を悼んで全員で黙祷を捧げた。内田武男副会長による開会のことばに続いて、土橋会長は「中野区は大学が誘致されて都内屈指の開発を遂げている。ふるさとを介して活動している中野の会は山梨と東京を結ぶ絶好の拠点、会として高齢化は進んでいるが、交流に携わる役員はみな元氣」と、会のパワーを次世代につなげたいという意欲を示した。

土橋会長を議長として議事に入り、小泉正近副会長より会務、収支報告があり、拍手を持って承認された。来賓祝辞として布施智樹県東京事務所長が、「後藤新知事のもと人口増をめざして山梨の魅力を世界に発信しようと県一丸となつていくところ」と現況を紹介した。

田中大輔中野区長は、「中



野と山梨は中央本線で繋がっていて絆は強い。甲州市とも里町連携をしていて、長期間滞在の便宜を図る等、具体的に事業化を進めたい」と語った。弦間明県人会連合会会長は「サミュエルウルマンは、『年を重ねただけで老いはしない。理想を失った時はじめて老いが来る』と語っている。県人会としても大きなビジョンをもち、計画をたてて実践することが大切。会員の目線で、つねに全体に配慮し、高い倫理観をもって活動に取り組もう」と述べた。有野芳邦足立区山梨県人会会長、長田正品川区山梨県人会会長も、それぞれ挨拶した。折原烈男顧問(折原コーヒー

株・会長)の乾杯の音頭で懇親会に移った。松本文明衆議院議員、川井しげお都議会議員なども挨拶した。また特別ゲストとして堀内恒夫参議院議員が読売巨人軍時代のエピソードを語った。「実家は代々続く絹糸屋だった。幼い頃右手の怪我により指一本が短くなった。だがそのことにより自然に投げて球の変化するカットボールが投げられるようになり、プロ

の選手として通用する投球術を身に着けた。巨人に入団した年にドラフト制度が導入され、契約金6000万円ももらえるはずだったが1000万円に減らされてしまったのは痛かった。その頃実家の絹糸業が傾いていたから。投手として26勝あげた時も、それほど年俸ががらなかつた。当時は長島さん、王さんで巨人軍の総給与の三分の一を占め、残りを62名で分けるという感じだったから。難しいことを、いとも簡単にやるのがプロ。夢を高いところにおいて政治の世界でも努力したい」と語った。

タブレット純さんの歌謡ショーやカラオケを楽しみ、坂井寛子さんの日本舞踊「白雲の船」では土橋会長が歌唱を担当、盛んな拍手を浴びた。藤巻茂常任理事の万歳三唱により午後2時半頃散会した。

## 第25回女性の会 隅をほのかに照らしたような温かい会に、と中込会長が抱負を語る

第25回山梨県人会女性の会(中込勝子会長・増穂町出身)が、4月3日、千代田区のアルカディア市ヶ谷にて開催され約120名が参集した。

中込会長は「この会は平成2年に県人会婦人部として発足、わたしは平成20年から会長

を務めさせてもらっている。一隅を照らすところを忘れず、桜の花と同じようにほのかに明るく、なくてはならない活動の場として、次世代へと末永く続く会としたい」と抱負を述べた。

来賓挨拶では公務で欠席した後藤齋県知事の代理として、新任の佐野宏県東京事務所長が、知事のメッセージを代読。人口減少を食い止め、大きな転換をめざす山梨の今後の展望が伝えられた。弦間明県人会連合会会長（旧一宮町出身）は「中込会長のスピーチから、よろこび、つながり、という2つのキーワードがあると感じた。常に前向きにつながりをもち、感謝しあうことが、世の中全体が幸せになる原動力になる」等と語った。清水昭三宿病院脳卒中センター長が「長寿のため



の健康法」をテーマに講演、具体的な実践法について語った。続いて女優の奥山眞佐子さん

（甲府市出身）が村岡花子他、明治、大正、昭和を通じて女性の生き方を反映した文章を朗読した。懇親会に移り、志村司郎県人会連合会会長代行が開会の挨拶を述べ、中村忠正県人会連合会会長代行（旧勝沼町出身）が「中込会長の卓越したリーダーシップで女性の会は、連合会にとってもなくてはならない存在になった」と乾杯の音頭をとった。保坂武甲斐市長も挨拶、有野芳邦県人会連合会会長代行（旧白根町出身）の万歳三唱により散会した。

### 西東京県人会開催される

#### 井上副会長の下、一層の結束を誓う

4月4日西東京県人会総会が、西東京市役所田無庁舎に17名が集合し、志村事務局長の司会により開催された。

井上副会長は会長代行としての挨拶で「昨年度も総会に始まり諸会務が実施されたが、年々会員が減少し、計画を立てても予定通りの実施が出来にくい事も多々見られる様になっている。会員の皆さんにはより一層健康に留意して頂き、これからも元気で楽しい県人会が続けられる様に努力をお願いしたい」と述べた。続いて来賓の山梨県東京事務所の佐野宏所長が挨拶され「東京事務所には3年前にも企画推進官として勤務していたが、今

年は所長としての勤務となり、皆さんのご意見をお聞きし、皆さんの思いを後藤齋知事に届ける役割を果たしたい。また後藤知事が掲げる100万人都市山梨、ダイナミック山梨プラチナ構想を県が一丸となって推進している中、富士山の世界遺産登録、中部横断道の開通、東京オリンピックの開催関連や週刊誌等で話題になっている移り住みたい県のNo.1となっている事等々を山梨の発展に繋げて行きたいが、山梨県人会の皆様の協力を今以上に頂いて、ふるさと創生に向かって努力したいと思うので、何卒よろしくお願いたい」と述べた。更に来賓として県人会連合会の長沼真事務局長は「山梨県人会の会員は、厳しい気候や険しい地形に鍛えられ、前向きな努力を身に着けられ、首都圏に於いても立派な業績を残している方が比較的多い様に思う。西東京市は山梨県人会の地盤としても大切な地域であり、前



向きに活動されている方も多々お見受けする。県人会全体としても「山梨ワンハンドレッド倶楽部」等の活動を通して、若い人も県人会に加入する状況が、ここへ来て見られる様になっている。西東京市の県人会についても、是非現在の活動を維持し、今後の発展を期して頂きたい」と述べた。続いて議事に入り井上副会長が議長に選任され、議事は総て承認可決された。それから会場は市庁舎内のレストラン「いこい」に移され、懇親会が賑やかな歓談の内に行われ、最後に一同武田節の斉唱と万歳三唱により19時過ぎ、会は盛會裏に終了した。

## 多摩市山梨県人会

**第39回多摩市山梨県人会総会及び懇親会が**  
4月5日、多摩センターの極楽の湯で行  
われました。

会員55名のうち23名が集まりました。

若木敏彦事務局長より、会の運営及び会計報告がありました。

また、昨年初代会長由井重光さん、4代目会長宮野節朗さんがご逝去されたのを悼みお二人のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

秋山正仁会長は、「今年で39周年、明年は40周年になります。これもひとえに代々の会長を中心にして毎年休む事無く持続してこられた



頭は大野康二郎副会長（93歳）が行い、その後は全員で近況報告し約3時間楽しいひとときを過ごしました。

中締めは、元上野原市議会議員の鈴木敏行監事が行い全員が明年の総会を楽しみにしつつ散会しました。

（記・秋山正仁）

**平成27年度第1回常任理事・理事合同会議**  
成27年4月14日、上野精養軒にて56名の  
出席により開催された。

「司会」 伊藤朝子常任理事 「開会の

辞」 長田正総務委員長 「新任役員紹介」

鷹野正明副会長 保坂岳深副会長 宮下孟本

理事 吉田文子理事 齊藤春雄理事 河西

ことに対し  
て、深く感謝  
しています。

明年は40周年を記念して郷里のリニア展示館や世界遺産の富士山周遊で総会をしたい」と決意を述べました。乾杯の音

頭は大野康二郎副会長（93歳）が行い、その後は全員で近況報告し約3時間楽しいひとときを過ごしました。

中締めは、元上野原市議会議員の鈴木敏行監事が行い全員が明年の総会を楽しみにしつつ散会しました。

（記・秋山正仁）

「弦間明会長挨拶」新年度の常任理事・理事合同会議を迎え、いろいろと有るが是非皆さんのご意見をお聞きしたいと思う。また先ほど6人の新任役員の方にご挨拶を頂いたが、ふるさと山梨に対する強い情熱を感じ、是非その情熱を県人会連合会に取り入れて、活動を更に活発にして行く事が大切であると感じた次第である。世の中は、20世紀の男性中心でお金や物質に価値観をおく社会から、21世紀に入り知性の集積、共生、意識（感性、感覚）を重要視する社会へと移行しつつある。それは心の方向へ価値観が向かう事であり、相対的価値に対して、数字で測りきれない絶対的価値が重視される社会である。私達の先人である小林一三氏が宝塚歌劇団が志向する方向として述べられた「清く正しく美しく」という言葉は、「真・善・美」という事を分り易く言った言葉であるのではないかと考える。21世紀に生きる私達は、この「真・善・美」を重視して良き時代を築いて行かなければならないと思う。

「山梨県東京事務所 佐野宏所長挨拶」今年4月より前布施智樹所長の後任として就任した。東京事務所は3年前の企画推進官に続いての勤務となるが、今回の所長として勤務するに当たっては、後藤斎新知事が掲げ

る100万人都市山梨、ダイナミック山梨プロジェクトの弦間会長が提唱・推進される「ふるさとリネージュ200」に相通じるところがあるの

で、山梨県人会の皆様を今まで以上に頂いて、ふるさと創生に向かって努力したいと思うので、何卒よろしく  
お願いしたい。

各委員会報告

〔議事〕会則により、議長に弦間明連合会会長が選任され議事に入った。

(1) 長田正総務委員長報告 第66回定例総会の総会次第、懇親会次第、総会収支予算(案)について。

(2) 中村芳文会計より平成26年度収支決算報告承認の件。(3) 有野征雄監事より平成26年度監査結果、会計処理についてすべて適正に処理されている旨報告の件。(4) 中村芳文会計より平成27年度収支予算(案)上程の件。(5) 土橋正総務副委員長より会則第3条会員規則における会員の入会及び退会について改正案上程の件。(6) 向山一夫組織委員報告 ①首都圏甲州市県人会設立につ



いて、第一回打ち合わせから「平成27年2月20日 第二回打ち合わせ 第三回打ち合わせ」[4月21日「平成27年3月24日」を経て、甲州市より田邊篤市長、深沢政策秘書課長、武澤政策秘書課長補佐、県人会より中村会長代行、中込組織委員長、萩原広報委員長、向山

理事等の参加により協議が進められた。②今後の県人会設立について今後中央市並びに都留市の郷友会設立を今年度中に実現するよう努力する。(7) 中岡啓子事業委員長報告 ①第5回水源林植樹会 i 1月からの甲府市との打ち合わせにより、当事業の実施の準備が進められ、各個別県人会の会長並びに連合会役員宛に

4月18日の甲府市有林に於ける実施と参加呼びかけの文書送付に至った。ii 第5回事業委員会(3月17日 出席10名)に於いて参加者募集、当日の役割分担及び実施予算について協議した②その他、春の「水源林植樹会」は事業委員や他の方々との協力を得て予定通り行

えた。秋の「やまなしカミングデー」においても是非皆さんの参加と周囲への参加呼びかけにご協力頂きたい。(8) 志邨守ふるさと納税推進副委員長報告 ①平成26年12月末の実績報告 件数643件 金額20441千円 (内県人会山梨県様式 197件9527千円) ※前年同期比 件数+421件 金額+5644千円 ②推進委員会との意見交換会が平成27年1月14日に山梨県東京事務所に於いて、山梨県知事政策局の依田政策主幹、奈良副主査、布施山梨県東京事務所長他2名、ふるさと納税推進委員・内田孝委員長他6名の出席により、i 平成26年度の反省・県産品の謝礼制度により件数は増加した割に金額が伸びなかった。ii 27年度に対する対策と要望・寄付金額に応じた謝礼品のランクアップ、謝礼品の内容の充実等について。iii 平成27年度税制改正案について確認等の各項目について協議された。(9) 萩原能成広報委員長報告 ①「富士の国」平成27年開花号「4月1日発行」について i 2月6日(金)編集会議記事の内容と共に、個別県人会の情報掲載を充実させる②購読者拡大策について未読者に試読の機会を提供し県人会全体の浸透度を高める対策を講じる。③平成26年度末「富士の国」収支状況について 連合会からの補助金を使用せず黒字となった。④その他 各県人

会の行事や出来事を「富士の国」へ情報として寄せられた。また今後の行事予定を、昨年同様添付の用紙にて事務局宛お送り願いたい。(10) 坂井寛子芸能委員長報告①5月23日開催の連合会総会後の懇親会時の芸能の出し物について、フラダンス講師・藤岡淳子他10名 所要時間15分、日本舞踊寛舞流(鵬録会) 8名 滝の白糸6分、シャンソン 小倉浩二15分。以上10項目に亘る各役員報告につき上程され総て異議なく承認可決された。

議長より以上にて10項目の報告を終了した旨述べられ、質問や意見も無く予定は総て終了したと、15時閉会が宣せられた。

## 第30回東甲倶楽部開催

### グローバル化時代の日本人のあり方を学び、40人が交流

4月20日、第30回東甲倶楽部(宮澤公廣会長)の総会、懇親会が、立川市「立川グランドホテル」で開催、40名が参集した。

同会は立川市周辺に居住する企業家を中心とした県人会で、経済、文化に関わる勉強会も地道に積み重ねてきている。宮澤会長は「本会は西東京山梨倶楽部として発足した。最近の活動としては『金丸信元副総理生誕100周年記念』として北朝鮮訪問団に5名が加わったので、見聞してきたことを正確に



伝えたい。富士山の文化遺産登録についても協力団体として7年前から活動、『富士山の日フェスタ』にも参加した。

富士山の環境汚染をどう食い止めるかが今後の課題」と等と語った。

加瀬英明日本文化協会会長の「世界で日本ほど良い

国はない」の講演があり、「天皇制は125代、これだけ続いた国はない。天皇と神道は一体のもの。そして神道はロジックではなく心で感じるもので、特定の宗教を信仰するのとは相違する」として、西洋人や中国人、韓国人の発想方法とはまったく違うことをわかりやすく説明した。「最高の神様を女性にしているのは日本だけ。(天照大御神)だから非常にやさしい。母性原理の文化であり、

理屈ではなく感性の国である」とも語り、グローバル化時代に日本人の進むべき展望を示した。

懇親会では来賓として初鹿野晋一山梨県産業労働部産業集積課課長が「後藤新知事のもと、中部自動車横断道の開通に伴って、新たな工業団地の建設が検討されている」等、県の活動状況が語られた。石原洋人県東京事務所次長は「市川三郷町出身だが東京に単身赴任して山梨の良さを改めて知った」と述べた。鈴木浩文山梨県中小企業団体青年中央会会長は「宮澤会長から、いろいろなことに興味をもつことが成功の秘訣といわれ、よしなんにでもチャレンジしてみようと思った。山梨の中小企業は若手経営者も多いので新しいアイデアを取り込んで活性化させたい」と抱負を語った。

## 第35回甲斐クラブ

### 田さんが初制覇! 飯窪さんの連覇を阻む

35回の記念大会となった山梨県人会連合会のゴルフコンペ「甲斐クラブ」(井上幸彦会長)が4月23日、都留キャントリ倶楽部で開催された。

この日は朝から空がきれいに晴れ上がる絶好のゴルフ日和。首都圏及び県内から、11人が参加した(集合写真)。コンペは新ペリア

**平成27年 横浜山梨県人会春の集い開催**  
**横** 山梨県人会春の集いに116名が集う



方式で行われ、ネット73・8をマークした鶴田久雄さんが初優勝を飾った。プレー後の表彰式では、前回優勝の飯窪光隆さんより鶴田さん（写真右）に優勝杯が贈られた。36回大会は今年の秋に開催の予定。参加ご希望の方は山梨県人会連合会まで。

甲州人が移住してから約1世紀・・・そこで発足した「横浜山梨県人会」は山梨最古の県人会だ。その横浜山梨県人会（遠藤恵弘会長）春の集いが、4月26日正午より、新横浜駅、横浜メモリアルソシア21で開催された。

横浜市内16支部より116名が参加し、カラオケ等を楽しみ親睦した。

見藤日勝副会長（甲府市黒平出身、僧侶）の司会により、三森東亜副会長（甲州市塩山出身）が開会の辞を述べ、遠藤会長は「10月には90周年記念の会が開かれる。郷土を介した絆を確かめ今日一日を楽しく過ごそう」と挨拶した。遠藤会長は東京浅草出身だが、母方の実家は牧丘町の名刹「洞雲寺」であり、小学校の一時期は同地で過ごしたとのこと。

「横浜そごうデパート」の経営に長年関わってきた経済人でもあるので「会存続のためには、経理面をしっかりと管理することも大切」と語った。特別企画として古屋茂利元組専務（身延町飯富出身）による「武田信玄筆頭



家老・飯富兵部を語る」のミニ講演会が開かれた。古屋氏自身が飯富兵部の家系であり、「甲州の猛虎」と称された勇将の劇的な生涯が興味深く語られた。

また当日、飯富兵部子孫直系で、身延町飯富で建設業「一番会」を営む古屋昇氏も出席、挨拶した。内田弘保名誉会長（都留市出身、元文化庁長官）の乾杯の音頭により懇親会に移り、宴たけなわとなって宮下卓雄副会長（富士吉田市出身）の先導により各会員によるカラオケが披露され「武田節」を全員で歌った。田中昂副会長（甲斐市出身）が中締めを音頭をとった。

**品川区山梨県人会総会懇親会開催される**  
**弦** 間山梨県人会連合会会長が記念講演

五月晴れの5月10日、33名の来賓を含め100名が五反田ユーポートに参集した。

総会は加藤一興副会長の司会進行により、青沼弘副会長の開会のことばに続き、長田正会長が挨拶で「第68回総会を開催するに当たり、第1点として、会場『五反田ユーポート』が今年の9月をもって閉館となるので、長年当会の諸行事開催等大変お世話になった事への謝意を表する記念講演会を、山梨県人会連合会の弦間会長に講師をお願いして開催する事とした。

第2点は当会の規定を改訂し、当会への入会資格を『山梨県出身者』としているところを、『当会に関心をお持ちの方』とし、幅広い方々からの入会の申し込みを受けけるよ

うにする。第3点は、山梨県の早川町との交流を図り、品川県人会の活性化を図る」と語った。次に議事に入り、長田会長の議長により、議案項目は総て円滑に承認、可決された。

続いて来賓の、山梨県東京事務所の佐野宏所長、山梨県人会連合会の弦間明会長、山梨県早川町の望月公雄副町長より、それぞれ祝辞が述べられ、その他の来賓が紹介された。

続いて8名の新入会員及び、新役員に就任した小池俊一常任理事、鈴木一哉理事、宮野八代子理事が紹介された。最後に望月美智春常任理事の閉会のことばで総会は終了した。

続いて資生堂特別顧問の弦間明山梨県人会連合会会長の講師による「『美の好循環社会をめざして』と題する講演会に移った。『美学・美意識・真



善美』とは人間の普遍的な価値であり、数字では表せない絶対的な価値である。人は衣食住に足りる様になると、より美しくありたいと望むようになる。

またその価値観は時と共に、物から心へと移って行く。そして心の感性をもっと磨きたいと思うようになる。日本人は長い間他者から決められた法律や規律より自らの良心に恥じない自分だけの誇りを拠り所にして知性を磨いてきた。その感性をより磨きそれを周りに伝達し影響を与える美の循環Ⅱ美のスパイラルを造り出す事が将来の豊潤な社会を造り上げる一助になる。生活文化・芸術文化の中で、美意識を高め、永続性の有る進歩発展を生み出す事こそが『美』である。また人間は状況に対応してしなやかに変化する事により永続的に存在し、美へのスパイラルを保って行かなければならない。また常に相反する資質のものと相対して存在してこそ互いにより良い存在で有り続ける。山梨県人会においても、いろいろな個性ある人々が各人の特徴を磨いて集う事こそ、より良い集まりとなる」と語り、弦間会長の貴重な体験からの金言の数々が披露された。

やがて懇親会となり、品川区会議員の松沢利行相談役の挨拶に続いて、東京都議会議員の伊藤興一相談役の乾杯の音頭で懇談や余興、参加者によるカラオケの披露等々和やかに懇親食事が進み、2時30分に並木太光副会長の万歳三唱の挨拶により閉会となった。

## 一紅会 歴史研究同好会「古代と戦国ロマンの旅」〜埼玉県行田市

**甲** 府中学・甲府一高東京同窓会には、1996年に発足した「一紅会」（いちこうかい）という、女性ネットワークの会があります。

発足した2年後の1998年から卒業生を講師に招き、講演会を開催してきました。

2005年に渡辺房男氏（S38年卒）の「幕末維新への旅」の講演の後、幕末の歴史に興味を持つ皆さんが集まり、渡辺氏に講師を依頼して歴史研究同好会活動を開始しました。講演で取り上げた現地を探访するフィールドワークを実施しており、先日第18回の歴史研究フィールドワークとして、埼玉県行田市の古墳と忍城を尋ねた「古代と戦国のロマンの旅」を紹介いたします。

5月10日（日）8時、54名が大型観光バスに乗り込み、新宿駅西口を出発しました。すばらしい天気にも恵まれ、予定の10時に忍城跡、行田市郷土博物館に到着しました。こは石田三成の軍勢の水攻めにも屈せず約1か月も持ちこたえた成田家の名城で、最近の映画「のぼうの城」で有名になりました。現地参加の方も加わり、2班に分かれスタッフからの郷土資料館の説明を受け見学した後、三階櫓に登り、城下町から周囲の山々までの





りした基軸として、『何をどうするか』という理念を持つ事だと考え、実践してきた結果、今年上の男性議員達に対するリーダーシップを発揮して

ら、ふるさと創生に対する考えと、山梨県人会の一員として十士会の会員への協力依頼の言葉が述べられた。また萩原能成連合会副会長（広報委員長）も挨拶に立ち「十士会は若手・中堅中心の貴重な会であり、同じ年代の集まりである『やまなしワンハンドレッド倶楽部』とも連携し、県人会連合会のために頑張って頂きたい」と語った。懇親会はワインや料理と弾む会話で大いに盛り上がり、20時半過ぎにお開きとなった。

## 山梨農林東京圏同窓会総会および懇親会の開催

山梨農林東京圏同窓会はさる5月16日ホテルグランドヒル市ヶ谷において第55回総会および懇親会を開催いたしました。

総会は11時より土屋一仁様の司会で込山会長の挨拶に続き議案審議が行われ平成26年度事業報告・平成26年度収支報告・平成27年度事業計画（案）・平成27年度収支予算（案）が可決されました。

平成27年度の予定行事では①山梨県人会連合会甲府市水源林植樹祭（4月18日）②山梨県人会連合会第66回総会・懇親会（5月23日）への参加③山梨農林高校白楊祭・収穫祭11月7日④山梨農林同窓会第111周年総会への参加など行事が計画されています。ま

た、関連して米寿を迎えられた山中昭平氏に賞状と記念品が送呈されました。さらに春の褒章では青沼弘（53回林業科）氏が黄綬褒章を授与されたことの報告があり、青沼氏から受賞した喜びの報告がありました。来賓の祝辞では母校同窓会会長保坂武氏（甲斐市長）より母校同窓会110周年記念行事が盛大に挙行できたこと、母校農林高校発展に積極的に寄与することなど、東京圏同窓会の益々の発展を願うことばがありました。母校農林高校

中島勝人氏より本年4月に母校に校長として就任したことで、母校の現状とこれからの取組などが紹介されました。つづいて石原保郷の司会で懇親会がおこなわれ、そ



る。十士会も何を何の為にするかという戦略を持って、飯窪会長のリーダーシップと会員の皆さんの協力の下、理念を実践して頂きたい」と述べた。

その後懇親会に移り乾杯が行われた後、新任の佐野宏山梨県東京事務所所長の挨拶があり、後藤新知事の「山梨100万人都市・山梨ダイナミックプラチナプラン」等のふるさと創生の県政や、現状について語られ、十士会の会員への協力の言葉が述べられた。

また山梨中央銀行東京支店の萩原政行支店長もあいさつに立ち、山梨の産業振興の面か

の中で母校農林高校のスライドを視聴しました。そのうち来賓の宮川尚巳教頭・武川仁前校長・小野修一前同窓会会長・天野丈重相談役と臨席いただいた方々より祝辞をいただいたのち、有野芳邦名誉会長の乾杯に始まり、各々の持ち歌の紹介などで楽しい時間を過ごし懇親を深めました。最後に、母校校歌・讃歌を合唱しお開きになりました。

(記・石原保郷)

## 第67回足立区山梨県人会開催される 5月17日綾瀬マリアージユに45名が参集した。

会は野田副会長の開会の辞で始まり、有野芳邦会長の挨拶となり「平成26年度の諸事業が滞り無く実行された。事情で唯一開催出来なかつた日帰り旅行も今年度は早々に実施したい。一人でも多くの人が元気で参加して頂きたい」と述べた。

次に議事に入り有野会長が議長に選任され、佐野副会長が「平成26年度事業報告」、桜井会計が「平成26年度収支決算報告」、議長の代読による「平成26年度監査報告」、林組織委員が「平成27年度事業計画案」、荻野会計が「平成27年度予算案」をそれぞれ上程し総て承認可決された。

議事終了後、山梨県東京事務所の佐野宏所長が挨拶に立ち、「今年2月に就任した後藤齋新知事体制による100万人都市山梨ダイナミックプラチナ構想に基づく117の公約について今年度中に具体的な計画を策定する予定である。県人会連合会の弦間会長が掲げる『やまなしリンケージ200』という『ふるさと創生』を先取りした構想を県としてもしっかりと受け止めて県政に取り組んで行きたいと思うので、首都圏にいる皆さんのご協力をお願いしたい」と述べた。

続いて弦間明山梨県人会連合会会長の挨拶となり「足立区の県人にも何回も出席し、長年に亘り皆さんとふるさととの事やその発展について語り合う会の存在意義は大きい。6月から読売新聞で『ふるさと創生と県人会の役割』について特集が始まるが、山梨は第1番目に取上げられる事になり、私の所へ取材に来た。記者からは「これからの日本は地方創生無くして発展は



無い。その原動力となるのは県人会ではないか。そこで、ふるさとへの思いは何か、ふるさとの魅力は何か、山梨県人の特性は、やまなしの美は自然の美か?」等々聞かれた。山梨県人は堅実で忍耐強く努力家で、頑固であると思う。また『やまなしの美』は『人の美』であり、自然の美と結びついて『やまなしの美』を生んでいると答えた。

また「山梨県は観光立県を目指しているが、何かアドバイスを」と言われ、山梨の人々がお客様を「お迎えする」という気持ちがあれば、恵まれた観光資源と相俟ってお客様は必ずリピータとなって下さる。そして「やまなしの50年100年後はどんな姿になっていて欲しいか」と聞かれ、50年前100年前の山梨が有って今が有る。歴史は未来を映す鏡であるから、

これまでの山梨を見て来て、きっと未来のやまなしは魅力の有る素晴らしい県になると答えた。6月の読売新聞を皆さんと共に読んで、また山梨の事を一緒に考えたいと思う」と述べた。

続いて懇親会が始まり、地元演歌歌手の歌

謡ショー、声自慢の面々のカラオケ大会と続き、更に足立区と南アルプス市県人会の両有野会長により、望月吾郎さんが南アルプスのユネスコによるエコパーク登録記念に因んで作曲した『北岳』をそれぞれが熱唱し、大いに盛り上がった会は14時半過ぎに終了した。

## 甲府西高等学校同窓会

### 第52回東京支部総会・懇親会開催

**感謝** 謝の思いを重ねて歓談、120名が目黒雅叙園に集う

5月21日(木)午前11時半より目黒区「目黒雅叙園」にて、甲府西高等学校同窓会第52回東京支部(山口ひさか支部長)総会・懇親会が約120名の参加を得て開催された。

山口ひさか支部長は「いつも喜んでいなさい、どんなことにも感謝しなさい、という聖書の言葉が年を重ねるごとにわかってくる。甲女時代には一日一日を大切にしなさい、そのために話し合いを続けなさい、という素晴らしい教育を受けたので、次世代にも西高の魂を受け継いでほしい」と挨拶した。

来賓祝辞として新任の小川西校校長が、「自己を知り自己を深める」校訓をしっかりと生かしたいと語った。長坂光子西校同窓会会長は、東京支部の物心両面からの協力に謝辞を述べて「思ったことをすぐ活動にうつす、

やろうと思ったことを即行動しないと結果がでない」と具体的に活動状況を報告した。恩師の田中久雄氏は「昭和26年に二高に赴任、校庭を整備して戦後初めての運動会を開いたことなどが思い出される」と語った。最年長の和田嘉称子さん(95歳)が乾杯の音頭をとり、懇親会に移った。和田さんは日本初のスチュワーデスとして知られる。東京―福岡間を往復するプロペラ機で、当時は高額だったため乗客ゼロということもあったという。世

代を超えて歓談の場がもたれ、最後に新・旧の校歌を全員で斉唱した。

なお当日の会の進行は、当番幹事の高校6回生卒、小野是明、五味弥栄子両氏が担当した。

## ほうとう会

**華** やかに、あでやかに、なごやかに。山梨県人会連合会青年部(小林央部長)の平成27年度総会が5月27日、東京・千代田区の富国生命本社で開催された。

大企業のトップがズラリと顔を揃える「やまなしワンハンドレッド倶楽部」(第3回を10月15日に同社で開催予定)に比べ、500円の会費ということもありカジュアルな雰囲気で行進するのが、この「ほうとう会」。

会場には120人に及ぶ参加者の熱気が充

満。20代、30代のビジネスパーソンが名刺交換の合間を縫って、缶ビール片手にピザをほおばる姿も目立った。

今回は弦間明会長、文部科学省・佐野太大臣官房審議官、堀内詔子衆議院議員、山梨県東京事務所・佐野宏所長の挨拶に続き、芸能界で活躍中の美女が続々登場。山梨が舞台となった映画「かぐらめ」に出演した筒井真理子さん(写真右)が山梨での先行ロードショーをPR。この作品でも共演した白須慶子さんや、47都道府県天下統一アイドルユニット「BANZAI JAPAN」の水萌みずさん(笛吹市出身、日大藝術学部3年/写真左・左端)もメンバー3人を引き連れ自己紹介。会場は華やかな雰囲気

包まれた。

また、連合会の小川朗理事より8月16日開催のヴァンフォーレ甲



府の横浜マリノス戦観戦イベント（横浜日産スタジアム/17ページ参照）と、10月15日開催予定の「やまなしワンハンドレッド倶楽部」の概要が発表された。詳細は山梨県人会連合会のFACEBOOKでも公開される。

## 第5回南アルプス市山梨県人会開催 オープンする完熟農園レストランで、県内外の会員、約130名が交流

5月30日（土）第5回南アルプス市山梨県人会（有野征雄会長）総会・交流会が、南アルプス市桃源文化会館、及び完熟農園レストランで開催された。

早朝、新宿駅発の貸切バスで首都圏在住の45名が南アルプス市に向けて出発、車内では、8月に発売予定の、細川たかしの演歌『北岳』が繰り返し流され、有野会長は「『北岳』を南アルプス県人会の、会の歌としたい」と語った。「南アルプス/青いやまなみ/天と大地を/結ぶ山あり・・」の歌詞が、有野会長以下、会員各々によって歌われた。午前11時に桃源文化会館にて総会が開催、ここで首都圏からの直行組21名と、地元南アルプス在住の77名が合流し、合計143名（内来賓が37名）の参加となった。有野会長は「設立時は255名だった会員が、現在は2055名になった。会員増に伴い、南ア

ルプス市出身者同士が、より密接に交流できる拠点が必要だ。来月オープンする完熟農園が、その場所にふさわしいと思い、今回交流の場とさせてもらった」と語った。各議

事承認の後、来賓を代表して後藤斎山梨県知事が「地域創生が求められる現在、官と民、

地域との連携が一層求められる。南アルプス県人会におけるさまざまな会員の増加は、ふるさと山梨への力強い応援であり、一層の連携をお願いしたい」と挨拶した。金丸一元南アルプス市長は「6月にオープンする完熟農園は地元の玄関口としての期待がかけられている。南アルプス市及び県人会の活性化の原動力ともなれるように、今後とも協力をお願いしたい」等と語った。田邊篤甲州市長は「7月18日に甲州市県人会が発足するので、飛躍的に会員を増



やした南アルプス県人会の活動を見本とした」と語った。歴史講座として、南アルプス市文化財課の保坂太一氏によるミニ講演があり、日本有数の扇状地である南アルプス市一帯が、古代以来、物と人が行き交う行商文化をどのように生み出したのかについて興味深く語られた。続いて細川たかしの『北岳』

を作曲した望月吾郎県人会連合会副会長より楽曲が紹介されて総会が終了。バスにて完熟農園レストランに移動し、政務を終えてかけつけられた保坂武甲斐市長も加わり、交流会となった。

旧白根町出身の有野芳邦県人会連合会会長代行が乾杯の音頭をとり、中込博文前市長（南アルプスプロデュース社長）が「この4年間、多くの関係者、スタッフの尽力のおかげで完熟農園オープンに漕ぎつけることができた。南アルプス県人会の方々が最初の客となってもらい感無量だ」と語った。地元産の農産物をふんだんに取り入れた、ビュッフェ形式の料理を堪能、演歌歌手南ひろかさの歌謡ショーを楽しみ、午後3時半にお開きとなった。

# 連合会だより

## 坂井寛子副会長（寛舞流宗家・鵬録会）の古典舞踊

—関東舞踊連合会舞踊会—

平成27年7月25日（土） 於、浅草公会堂 問合せ 03-5393-4133

坂井寛子山梨県人会連合会副会長・芸能委員長は関東舞踊連合会の副会長として運営面においても、踊り手としては勿論、寛舞流宗家としての指導者としても例年この舞踊会の主役を務めている。大舞台で古典の日本舞踊を舞われる寛舞鵬録（坂井寛子氏の舞台名）さんの舞踊は一見に値する。今年は長唄「新鹿の子」で「取り」を務める。



## 「十士会」今年度第2回勉強会の成果を持って、樋口甲府市長と意見交換！



山梨県人会十士会（会長：飯窪光隆）は、3月12日に田島ルーフィング株式会社会議室にて、定例の勉強会を開催した（講師小俣光一会員・建築士）。

「コンパクトシティ」の概念に基づく街づくりについて、発表や議論が行われた。小俣会員は、コンパクトシティとは住民が1カ所に集団居住し行政効率を上げることを意味するのではなく、集落やコミュニティのまとまりを大事にしながら、それらのまとまりを大小効果的に意味づけ、全体として有機的な結合状態を指すのだと指摘。また甲府市を京都市と比較し、甲府市がその潜在能力を備えていると指摘した。議論に盛り上がりを見せ、これについて具体的な提案をして行こうという事になり、4月に、小俣氏と飯窪会長が甲府市の樋口市長を訪問して、意見交換を行った。当テーマは全市町村にも重要な事案であり、今後提案の機会を模索して行く。

## 第3回やまなしワンハンドレッド倶楽部が開催されます

10月15日（木）19時～21時 富国生命本社ビル28階会議室

昨年の第2回開催時には12名の経営者と83名のビジネスパーソンが集合しました。

今年もふるってご参加下さい。初めての方も歓迎します。



前回（第2回）ワンハンドレッド倶楽部参加者（経営者）		
名前	役職	会社名
川手正一郎	代表取締役会長	株式会社 ニッセーデリカ
弦間 明	特別顧問	株式会社資生堂
清水 喜彦	取締役副会長	株式会社 三井住友銀行
志村 司郎	代表取締役CEO	株式会社 プティック社
長坂 剛	専務取締役	株式会社 小泉
樋口 靖	代表取締役社長	株式会社 熊谷組
布施 智樹	所長	山梨県東京事務所
保坂 岳深	代表取締役執行役員社長	NECプラットフォーム株式会社
堀内光一郎	代表取締役社長	富士急行株式会社
堀内 丸恵	代表取締役社長	株式会社 集英社
宮澤 公廣	代表取締役会長	エコア株式会社
武藤 直人	取締役専務執行役員	富士重工株式会社

## その他 今後の山梨県人会連合会の主な行事

10月13日（火）	第2回常任理事・理事合同会議（上野精養軒）
10月15日（木）	やまなしワンハンドレッド倶楽部（富国生命本社ビル 28階会議室）
秋の期間	やまなしカミングデー
11月 2日（月）	知事とふるさとを語る会（新宿京王プラザホテル）
11月18日（水）	山梨県町村長会と県人会幹部役員との意見交歓会
12月 8日（火）	第3回常任理事・理事合同会議（上野精養軒）
平成28年1月26日（火）	新春賀詞交歓会（目黒雅叙園）



山梨県立博物館 開館10周年記念特別展

# 大化石展

## 山梨に恐竜はいたか!?

Did dinosaurs exist in Yamanashi !?

この夏、博物館で恐竜に会おう!!



▲ティラノサウルススピリウス (福井県立恐竜博物館)

▲アロカウルス・フラキリス (福井県立恐竜博物館)

4万年前の山梨は寒かった!

兄川産ナウマンゾウ (山梨市産・湯島北史前館)

1000万年前の山梨は海だった!

大月市産 イトモミジツキヒ (塩原市化石博物館)

身延町産 カケガワバイ (塩原市化石博物館)

身延町産 カマドシシム (塩原市化石博物館)

身延町産 ニッポンダカラガイ近縁種 (塩原市化石博物館)

▲アナヒセテリアルサルティヴィアイ (福井県立恐竜博物館)

### 2015年7月18日土 ~ 8月31日月

常設展+企画展共通券

休館日	期間中無休	一般	1,000(840)円	一般	1,260円
開館時間	午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)	大学生	500(420)円	大学生	590円

高校生以下は観覧無料

- 主催：山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送
- 特別協力：福井県立恐竜博物館、塩原市化石博物館(岐阜県)、岐阜県博物館
- 協力：山梨交通株式会社
- 後援：朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新聞社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

**山梨県立博物館**  
Yamanashi Prefectural Museum

- アクセス
- 中央自動車道一宮・御坂ICから車で約8分
  - JR石和温泉駅からバスで約10分
  - 山梨交通/山梨県立博物館行き【富士山駅】行き、「黒川」行き
  - JR甲府駅からバスで約30分
  - 【山梨交通/南口7番のりば】山梨県立博物館行き
  - 【富士急山梨バス/南口7番のりば】「富士山駅」、「下黒川」行き
  - 富士急行・河口湖駅からバスで約40分【5番線「甲府駅」行き】
  - 富士急行・富士山駅からバスで約50分【4番線「甲府駅」行き】



〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1 Tel:055-261-2631/Fax:055-261-2632 E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp URL:http://www.museum.pref.yamanashi.lg.jp  
お知らせ ▶ 博物館の展示室は資料保存のために空調の温度を年間を通じてほぼ一定に保っています。そのため、夏季には室内を寒く感じることがあります。お越しの際は、ぜひ一枚羽織るものをお持ちください。

# 八王子日本閣

うれしさ、  
たのしさ、  
今すぐあなたに

## レストラン「フローラ」 tel. 042-676-4128

ランチメニューが1800円から。  
ティータイムに利用できるし、デートにもおすすめ♪



- ◆営業時間 10:00～22:00
- ◆ランチコース 11:00～14:30
- ◆ディナーコース 17:00～22:00
- ◆単品メニュー 1,575円～、ケーキ525円～

## 毎週土・日ブライダルフェア開催中!



教会式、人前式、神前式、3つの挙式が叶う八王子日本閣では、  
毎週土・日ブライダルフェアを行っています。  
ご結婚を考えているカップルには、無料で試食も行っています。  
予約がなくても、当日でもご用意可能!

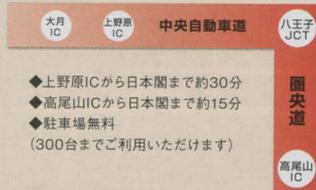
## ご宴会・会食



会社のパーティーやご家族のお祝いは美味しいお料理にお得なプランを!

◆パーティープラン 7,000円～

お車でお越しの場合、大月ICから約45分!  
今までより約20分短縮!



圏央道  
高尾山ICと八王子JCT間が開通!  
こんなに近く、  
便利になりました!

八王子日本閣

電車でお越しの場合、大月より八王子特急利用で30分!



大月より  
八王子特急利用30分  
※かいじ106号 大月10:04始 (土日ダイヤ)

八王子駅から無料シャトルバスを  
ご利用いただけます  
JR八王子駅/所要時間 約20分 (みなみ野駅経由)

八王子日本閣 

東京都町田市相原町 1008  
http://www.noce-ange.com/

ご予約  
お問合せ

042-676-4122

予約受付時間09:00～21:00(火曜日定休)